

## 他傷（咬む等）のある3歳児への対応へのヒント

2年前に授業で出会った元学生から、初メール。何かと思ったら、以下のような相談。

「4月から仕事に就いた新米保育士だけに、どうアドバイスしてあげればいいのか、戸惑っています。

アドバイスのヒントをいただければと思いますので、お忙しいところ済みませんが、よろしくをお願いします。」

と、先輩保育士等へお願いしたところ、早速ヒントをいただきましたので、何かの折の参考までに紹介します。

更にヒントをいただきましたら、随時追加します。

2007. 5. 25. 阿部幸泰

【 実は…うち（注：幼稚園）の3歳児クラスで今、発達支援センターに月1くらいに通っている子がいます。

その子は誕生日齢も2月と遅いため発達が遅れているだけなのか、障がいがあるのか、はっきりした診断はまだ難しいと言われたそうです。

言葉は単語がたまにでる程度で、文は喋れません。支度は援助するとできますし、指示も直接その子に言うとう理解してるようで動いてくれます。

今悩んでいるのはその子がクラスの子どもを突然噛んだり引っ掻いたりする事で、その事に対してどう対応していいのか？です。

噛んだ後はケロッとしていて、その場でどうして噛んだのか聞いても答えてはくれず、私が強い口調だと怖くて泣きます。

他の子は何もしてないようですが、突然にです。その子に他の友達を傷つけることはダメと伝えたいんですが、言葉では伝えられない気がしていて、その他の方法を考えてますがまだ見つかっていません。

私の園では（変な事で、未だにそこは納得できていませんが）障がいをもつ子どもを受け入れてはいなく、他の先生方にもあまり相談できません。

また、この悩みはもしかしたら障がいがあるなしに関わらず年齢が低い子なら誰でも通ることなのかもしれませんが……。

もし、よろしければ阿部先生のご意見を聞きたいです。よろしくをお願いします。】

⑤障害のあるなしに関わらず、どんな子どもであっても理由なく噛みつきや引っ掻きをすることはないように考えます。

目の前に手があった、自分が使おうと思っていたおもちゃを先に使われた、行こうとしていた先に誰かがいたなど、大人には思いもつかない理由で大人にとっては問題と思われる行動に出ることがあるようです。

まして自分の思いを言葉では十分に表現できない子どもであればなおさらなのではないでしょうか。

又、保護者との関係や寝不足など精神的に満たされていない時もよくあります。

保育者が何故そのような行動に出たのか子どもの思いを理解してあげることが大切かと思えます。それを言葉で代弁し、相手にも知らせあげながらも本人にはいけないことを知らせていく。保育者が強い口調で問い詰めたら子どもは泣くか黙るかです。

発達の遅れが見られる子どもであっても保育者の表情やしぐさで理解してくれます。

教え諭すような言い方をすれば一度では無理でも思いは伝わると思っています。

ちなみに1歳から2歳の頃は全国的にも咬みつきの問題は課題となっています。

もちろん咬みつきをしない子もたくさんいますが、発達の中で通る道すじのような感もあるのが現状です。

わが園では咬みつき対応マニュアルさえあります。

障害児を受け入れていない園であっても、先輩保育士は長年の経験の積み重ねがありますのでぜひ相談してみてください。

納得できる答えが出てこないときは園全体の課題として討議していくことも大切かと思えます。子どもの問題は担任だけのものでなく、職員が連携して解決していくことが、子どもへや保護者への責任かと思えます。

④やっぱり人の行動に“突然”っていうことはなくて、必ず何か理由があるはずですが、その子どもさんがどのような状況のときに、噛んだり、髪を引っ張ってしまったりするのかを“よーく見る”こと、子どもさんのその行動の“意味”をじっくりと考えてみることに。

もしかすると、その子どもさんが噛んだりすることの理由は、大人にはすぐに見出せないようなものであるかもしれません。

でも、やっぱりその子どもさんにはそうせざるを得ないくらいの理由なんだと思えます。

たとえばいつも自分が使っていた玩具を他の子どもさんが使っていたとか、他の子どもさんが自分の好きな先生と遊んでいたとか、他の子どもさんが自分と同じハンカチを持っていて自分のハンカチが取られたと勘違いした、などなど理由は、いろいろと考えられますが、その子どもさんの行動をよく見ることによってしかわからないと思います。

そして、その行動の意味によって対応も変わってくるのだと思います。

まずはその子どもさんの行動を状況とセットにしてよく見てみるのが大事ではないかと思います。

それと、その子どもさんが障害児か否かという話は、上述の行動の意味を考えるということとまた別の話です。

その子どもさんが何でそういう行動をするんだろうか、という話はしても良いのではないのでしょうか。

当然、その子の“障害”が行動の理由とはなりません。

③ 1年目で支援の必要なお子さんをひとりで対応されているのは大変ですね。

私どものようにチームで対応しているところでも悩みはつきませんから、誰か相談できる先輩ができるように祈るばかりです。

保育所ならば未満児に嘔み付きはよくあることでしょうし、経験されている先生もおられると思うのですが・・・。

仮に自閉症グループのお子さんだとしたら、「嘔み付いたことが悪いことで先生に叱られている」と自分の行動と先生に言われていることを関係付けて考えることはまだ難しいでしょうし、発語のほとんどないお子さんに原因を問うのも関係を悪くするでしょうから、嘔んでしまったら過剰な反応をせず、「嘔みません」など短い言葉で伝え（×マークなど見せることもあります）、とにかく嘔みそうな気配を感じたら未然に防ぎ、そのお子さんの気持ちを代弁してあげたり、うまく関わりが持てるよう介入していくことなのだと思いますが、受け持っておられるのが何人の集団なのか、一時的にでも手伝ってもらえるスタッフがいるのか、親御さんとお子さんの関係がうまくいっているのか、親御さんと話し合える状況にあるのか、他児の親御さんの反応など、条件の整理をひとりでこなすのは大変だと思います。

親御さんの承諾があれば、通っている支援センターのスタッフに先生が相談することもできます。3歳3ヶ月で単語もなかなかでないのであれば、どのような支援が必要とされているのか、伺って見たほうが良いと思います。

何かしら理由はあるのですが、他児が泣いて気づき、先生自身が怒ってばかりの関係が続くのは嫌でしょうしから、未然に防ぎながらお子さんの安心できる場を確保できるような体制を組めるよう、園長さんを巻き込みながら相談することをお勧めしたいです。支援が必要なお子さん自身も困っているのだと思います。

「障害児保育」の名前にとらわれず、連携できると良いのですが。

様々な事をひとりで引き受けて燃え尽きてしまう保育士さんが増えていると聞きました。

若いうちは力量など無いのが当然で、相談することが恥ずかしいことではなく、むしろ第三者の意見に耳を貸すことが必要なことなのだと思います。

ケース討議など、否定されると苛立ったり、落ち込んだりしますが、若いときにこの経験をしていないと、後々難しくなるなあとしみじみ思うので・・・。

お子さんと先生、どちらも可哀そうで老婆心を書き綴ってしまいましたが、特効薬のような対処法はあまり無かったりするので時間は掛かると思って臨んだ方がよいこと、その子のことが嫌いにならないよう（母親でさえ私を困らせると言って拒否の態度をとったりするのです）

良いところを見つけて良い関係を維持することを心がけ、プライベートでちゃんとリフレッシュすることをお勧め下さい。熱意のある方が辞めないように周りで育ててあげたいものです（反省をこめて）。

あまりお役に立てずすみません。また何か気づいたらメールいたします。

②障害があるかも・・・という点からこどもを見るのではなく、どうして噛むのか、噛む前後を観察して、なぜ噛むのかを考えます。

突然ということでしたが、体調も関係してきますし、ちょっと前のイライラをぶつけて

いるのかもしれませんが。

4月に環境が変化したことも考えられます（進級や入園、担任が変わったことなど）。

また、保育士と一緒に遊びたい、係わってほしいという気持ちを伝えてきているのかもしれませんが。

まずは、当面、なるべくなら、そのこどもについて、噛まない環境を作ってあげることが必要だと思います。

噛んでしまったこどもも、噛まれたこどもも、どちらをとってもいい状況ではありませんから。

また、噛むことが当たり前になってしまうと、噛むことによって保育士の目が自分に向くことがうれしくも思ったりします。

もし、一人担任で大変な時は、主任さんなどに助けを求めることも必要です。

状況から「頼みにくい・・・」ということも考えられますが、一番噛む時間帯にクラスに入ってもらいなどお話してみてもいいかがでしょうか。子どものためですから、勇気を出してみてください。

また、複数担任だったら、この時間は（例えば、昼食後の遊びではなど）一人、その子どもにつくなど、話し合ってみることが大切だと思います。

子どもの様子がかめてきて、「あっ、噛むかな？」ということがかめてきたら、「なんだか、気持ちがイライラするよね。」などと子どもに声をかけ、抱っこしてあげることで、気持ちが落ちついていくかもしれません。

噛みたい気持ちをわかってくれる人がいることって、その子どもにはとても大きな救いだと思います。

そして、噛んでしまった時の対応ですが、私は「してはいけないこと」「相手が痛い思いをしていること」「保育士も悲しいこと」は伝えていました。

伝え方（叱り方）は文章ではうまく伝えられませんが、真剣に叱ることもあります。（子

どもが泣くこともありました)

でも、まず、一緒に遊んでみるのはいかがですか？

一緒にたくさん遊んで、「保育士さんのことを好き」という気持ちがまずなくては、「いけないこと」を伝えても、伝わりませんものね。

大好きな保育士さんの言うこと、悲しいことはしたくないと思ってくれることも大切だと私は思います。

「障がいがあるなしに関わらず年齢が低い子なら誰でも通ることなのかもしれませんが……。」とおっしゃっていましたが、まさに、私もそう思います。

去年、1歳児クラスで、突然噛むこどもがいました。

発達の中で、1歳前後は「噛む」様子が出てきやすい年齢です。

そこで、噛む状況を分析し、本当は2人担任のクラスでしたが、3人の保育士をクラスに配置し、対応しました。

また、子どもの対応をするとともに、お母さんに子どもの家での様子を聞きだしたり、お母さんの子どもとの係わりも見るようにしました（お迎え時の係わり合いを観察）。

その中で、そのこどもは中耳炎にもなりやすく、耳が聞こえにくかったり、痛かったりする場合があることを母親からの話でつかめるようになり、そういう時に噛むことがあることもわかってきました。元気に見えても、子どもの中ではささいな体調の変化も「噛む」という様子につながっているようでした。そうしたことで、時間はかかりましたが、噛むことは少なくなっていましたよ。

① 3歳児クラスのお子さんの件ですが、もしかしたら感覚的な問題があるのかもしれませんが。

発達に何かしらの問題を抱えている人に多いのですが、感覚過敏などの問題があり、その事が本人をわかりにくくしてしまったり、周りが悩んだり、困ってしまう事がよくあります。どの様な感覚の世界で彼らが生活をしているのかを知ると、何より子供が安心して生活でき、大人側も係わりやすくなるのです。

感覚といっても視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚の他、前庭覚、固有覚というものまで含まれます。インターネットで「おかあさんの為の感覚統合療法，若松かやの」を検索する

とわかりやすく書いてあります。

かみつきの理由と考えられる原因も、「パニックの原因」の欄にあります。対応の仕方もあります。

何が原因かを探る、ヒントになるのではと思います。

それとおすすめの本があります。

東田直樹 著

「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」です。

彼らがどのような感覚で生きているのか、とても参考になる本です。

私達が悩んでるという事は、子供達はその何倍もくるしいと思います。

だって、自分ではどうしようも出来ないから、そうしてしまうのですものね。

その保育士さんは偉いですね。

悩んでても解決しないのですよね。こたえをみつけないと。その為に行動しないと。ですものね。

きっと子供ときちんと向き合いたいのでしょうね。やっぱり、子供の心に近付きたい方なのですね。

素敵な事ですね。

その心が一番大切なのですよね。彼女の10年後、20年後が楽しみですね

私（阿部）の元学生への返信

【現場は色んな子どもがいますから、色々考えさせられるでしょ。

さて、相談のことですが、やはり他児を咬むようなその場では、しっかり向き合っ目を見て叱ることが必要かと思います。

それと、保育士としては、その子のそうした行動がなぜ起こるのかを、考えることも必要かと思います。

理由を聞いて答えられるような言葉が多い子なら、咬んだりしないでしょうね。

自分の気持ちをうまく表現できない（言葉にできない）から、咬むというような行動に

でもとも考えられます。

ですから、どうした状況の時にそうした行動をするのかを、その時の状況をよく観察することです。何か理由があるはず。

そして、咬むような行動が出そうな状況の時に、先回りして話しかけ、他の行動へ誘導する心がけが必要になると思います。

咬んだ後、ケロッとしているのは、その子どもがうまくその場の状況に対応できず心にプレッシャーやストレスを感じるから、咬む行動でその場の心のプレッシャーやストレスを解消しているのだと思いますよ。

まあ、叱るばかりでは、子どもはあなたを怖がるだけになるでしょうから、その分、他の場面でしっかり誉めたり、抱きしめてあげたりして、喜ばせてあげてくださいね。

また、授業でも話しましたが子どもであっても一人一人の背景が異なりますので、云うまでもなく、周りからの意見はあくまで参考にして、向き合う子どもたちにどう応用するかは、あなたの知恵。そこがプロになるということですからね。

自分であれこれ考えるより、周りの方々の意見を聴くと、参考になることも多いですから、これからも周りに耳を傾ける心の余裕と勇気を持ち続けてくださいね。

いつでも応援しますからね。】

ヒントを紹介したところ、元学生からの返信

【 早いお返事ありがとうございます！！

とても参考になりました。読みながらなるほどと思うことばかりです。

やはり理由はあるのですね。

私が相手は何もしていないのにとは思っているけど、“その子にとっての何か”があったのかもしれない。

その子に対して一緒に遊んだり抱っこするというのは最近してなかったなと反省しました。

噛むことばかりに目が行ってしまっていたような気がします。

頭をリセットさせて明日からその子をよく観察してみたいと思います。

今日も一人クラスの子どもを噛んでしまい、目を合わせて（合わせてさせて）ジェスチャーも交えながら、「友達は噛まれて痛かったよ、噛むことはいけないんだよ」と伝えてみました。

その対応は今阿部先生のメールを読み、よかったのかなと思ったのですが……。

実際伝わっているのかは、その子の様子をみても分かりませんでした。

これからまず、その子をよく知ろうと思います。

長期戦（？）になるのかもしれませんが頑張ってみます。

先生もお忙しいのに本当にお返事ありがとうございました！

また、メールをするかもしれませんがそのときはよろしくお願いします。 【

先輩保育士等のヒント、アドバイスを目にしての、後日の元学生からのメール

【先輩がメールをくださるなんて嬉しいばかりです。

本当に阿部先生に相談してよかったです。

今日ですが、気持ちを切り替えその子がちょっとしたことでも出来たときは抱っこしたり、誉めたりするように心がけました。

また、補助の先生にも頼り、自由遊びの輪の中にも1人は必ず大人がいるようにしました（いつもは部屋で子どもが遊び、私はその様子をみながらおたよりノートなど雑務を行っていたので…）。

その為かは分かりませんが今日はその子の噛みはなく、周りの子どもと悪くない関係で過ごせていたと思います。

明日からも先輩方のアドバイスを参考にしながら観察、その子との関係づくりを続けていこうと思っています！！ 【

一週間後の元学生からのメール

【最近はその子も落ち着いているように見えます。玩具の取り合いで友達をたたいたりなどはありますが、噛むという行為は今のところありません。それに言語も増えて、支度も援助ナシでも出来る事が少しずつ増えてきています。成長を感じられるようで嬉しく思っています！

引き続きその子の思いを考えながら、障がいがあるナシは気にせずその子と関わろうと思っています。】